

ぶらりわが街宮沢界限

⑩ 「五鉄」五日市鉄道 ― Ⅱ ― 遺構を歩く(1)

(立川→武蔵上の原→郷地→武蔵福島→南中神)

立川～拝島間を結ぶ、元五日市鉄道「通称・五鉄」が昭和19年(1944)10月11日付営業停止命令により、廃線になり「五鉄」が消えてから、既に65年を超えてしまった。その跡はどうなっているのでしょうか？ 時は戦時下、レールはすぐに撤去され兵器(弾丸が主)に替えられ、枕木は重要路線へ転用された。その跡には、道路に利用されたり、荒地のまま放置されていましたが、現在は舗装道路になったり、住宅地として利用されている。わずかに往時の面影を「五鉄敷」や「ホーム跡」を残しているが、指摘されなければ見過ごしてしまうであろう。市域の発展とともにすでに過去のものとして忘れられてしまっているのである。

① 立川～武蔵上ノ原(立川市

富士見5町丁目)―「立川」

は明治22年(1889)4月11

日甲武鉄道(現JR中央線)

開業。「五鉄」の立川～拝

島間でわずかに残存した

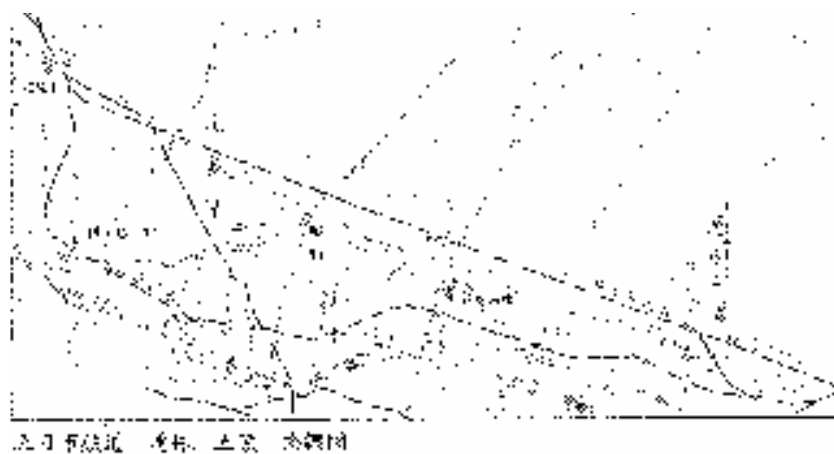
区間であり、現在も貨物列

車及び東京からの青梅線

直通電車が使用している。

中央線をオーバークロスした

先のところが「武蔵上ノ原」で、今も踏切に名前が残っている。現在使用されている「西立川」方面との分岐点であった。



② 武蔵上ノ原～郷地―分岐点から西の区間は、立川南通りとなり、線路跡は全くない。旧都立短大正門前の交差点の角で、ガソリンスタンド付近が「郷地」でした。

③ 郷地～武蔵福島―「郷地」交差点の大法商会から、西に延びる道で、昭和公園南入口を過ぎ、テニスコート南側の福島通り手前で行き止まりとなり、付近の住宅やアパートが建っている所が「武蔵福島」だが、位置は特定できなかった。

④ 武蔵福島～南中神―玉川町 3 丁目に入ると、払い下げた住宅で見失い、次に認められるのが、八清通りの手前からで、「南中神」は、公園玉川5丁目住宅の北側からコンクリート会社までの比較的大きな駅でした。単線だった「五鉄」は、この駅と「南拝島」が、構内では複線で、上りと下りの行き違いができました。

記

防犯宮沢支部会計 西山 禎一

